

平和の意味を考え 友情を育む

広島 ⇄ 沖縄

中学生交歓交流事業 参加者募集

問い合わせ 生涯学習課 ☎28-5680

沖縄県豊見城市と大竹市の中学生が相互に訪問し、平和学習や体験活動、集団宿泊などを通して、広い視野と友情を育みます。今年度は、豊見城市の中学生を迎え入れ、大竹市近郊で交流します。来年度は、今年度参加した中学生が、豊見城市近郊で交流します。
※2年間を通じての事業です。



とき 8月4日(金)～7日(月) (3泊4日)

対象 次の全てに該当する方

- ①市内在住または在学の中学1・2年生
- ②心身ともに健康で規律ある行動ができる
- ③事前研修・事後研修に参加できる
- ※事前研修は6月11日(日)、7月9日(日)(日帰り)を予定(事後研修は未定)
- ④2年間参加できる

※申込者数が定員を超えた場合は選考を行います。

参加料

- ・5年度 5000円
- ・6年度 3万5000円(予定)

※別途事前研修にかかる費用(食事数×500円程度)が必要です。

活動内容

- ①沖縄や広島戦争・文化・歴史・産業などを学ぶ。
- ②戦争関連施設や文化施設の見学、戦争体験談の聴講などを行う。
- ③研修後に感想文を作成し、報告会で発表する。

④学習した成果を各学校、地域社会に還元する。

申し込み

5月31日(水)までに電話、ファクスまたはメールで、氏名・学校名・学年・性別・電話番号・住所を伝えてください。

※電話の場合は、月曜日～金曜日の9時～17時15分(土・日曜日、祝日は除く)

ファクス 535801
メール seigaku@city.otake.hiroshima.jp

ジュニアリーダー育成事業チャレンジ講座を実施します。仲間と一緒に、家庭や学校とは違う新たな居場所を築きませんか。

対象 次の全てに該当する方

- 市内在住または在学の小学5年生～高校生
- 心身ともに健康で規律ある行動ができる
- 原則全プログラムに参加できる(部活や大会などで、やむを得ない事情による途中参加、欠席は可)
- 定員 計50人
- 「本参加」
- 中学生25人
- 小学6年生10人
- 「プレ参加」
- 将来この事業に参加を希望する小学5年生5人
- 高校生(スタッフ)10人

※参加者が定員を超えた場合は選考を行います。

参加料 無料(ただし、食事代として食事回数×500円程度が別途必要)申し込み 5月15日(月)までに電話、ファクスまたはメールで氏名・学校名・学年・性別・電話番号・住所を伝えてください。

ファクス 535801
メール

seigaku@city.otake.hiroshima.jp
※電話の場合は、月曜日～金曜日の

学校・学年を越えて体験活動・スキルアップ講座 ジュニアリーダー育成事業

参加者募集

問い合わせ 地域学校協働本部(生涯学習課内) ☎28-5680



一般ボランティア募集

子どもが好きな方、先生を目指している方など、子どもたちの活動をサポートするボランティアを募集しています。詳しくは事務局へ連絡してください。

9時～17時15分(土・日曜日、祝日は除く)

「事業説明会」

初めて申し込みをする方を対象に、事業の目的や注意点などを説明します。参加者と保護者の出席をお願いします。日程などは、個別に連絡します。

昨年度の参加者からの声

- 違う学校の、年齢も違う仲間と仲良くなれるので楽しい。
- 人の前で発言する機会が度々あるので、受験の面接の時に緊張しなかった。
- 普段見聞きする機会のない大竹の歴史を知ることができた。など

事業説明会

5月20日(土) 11時～11時45分
総合市民会館

※説明会への出席が参加条件ではありません。

過去の活動内容

@大竹市

広島平和記念式典参列、マツダスタジアムツアー、お好み焼き作り体験、広島城見学、錦帯橋見学、原爆資料館見学、被爆体験講話、しゃもじ作り体験、宮島散策など

@豊見城市

対馬丸記念館見学、平和祈念公園見学、ひろしまの塔見学、戦争体験講話、美ら海水族館見学、ウージ染め体験、沖縄そば作り体験、海水浴、国際通り散策など

令和5年度児童福祉週間標語

小さなて みんなではぐくみ 育ててく

児童福祉週間・月間

問い合わせ 福祉課 ☎59-2148

子どもや家庭、子どもの健やかな成長について国民全体で考えることを目的に、毎年5月5日の「こどもの日」から1週間を「児童福祉週間」と定めています。また、広島県では、全ての子どもたちが、生まれ育った環境に左右されることなく健やかに夢を育める社会づくりに取り組んでおり、毎年5月を「児童福祉月間」と定めています。

子どもたちが家庭や地域で、豊かな愛情に包まれながら、夢と希望を持ち、未来の担い手として、個性豊かに、たくましく育っていくけるような環境・社会を作っていくことがとても重要です。

市でも、さまざまな子育て支援サービスを実施しています。サービスの詳細は、市ホームページをご覧ください。また、広報おたけでも定期的に市内の子育て支援サービスを紹介しています。